

海岸林から考える ふるさと・里浜の復興デザイン



日時

2018年**2月24日**（土）

12:30～16:00

会場

東北学院大学土樋キャンパス
押川記念ホール

基調講演

吉崎真司

（日本海岸林学会会長・
東京都市大学環境学部長）

講演

菊池慶子（東北学院大学）

岡 浩平（広島工業大学）

柳澤英明（東北学院大学）

開催趣旨

東北地方太平洋沖地震・津波（東日本大震災）で被災した海岸では、海岸林の再生が市民や企業、行政など多彩な人々の連携の下で進められています。このフォーラムでは、誰しものが想い、願う「ふるさとの、うるわしい海岸林・海辺」を創出するために、被災後7年間の取り組みをふり返り、課題やアイデアを共有します。そして、これからを見据えて、「地域の自然と歴史に学ぶ森づくり」、「人づくり・地域づくりと連結する森づくり」について考えます。

次第

11:30 開場

11:30～12:20 参加者交流（会場ピロティで、ポスター発表や関連資料の展示が可能）

12:30 開会・趣旨説明

12:40～13:40 基調講演

これまでの海岸林、これからの海岸林

吉崎真司（日本海岸林学会会長・日本緑化工学会副会長・東京都市大学環境学部長）

13:40～13:50 休憩

13:50～15:05 講演（プロジェクト成果報告）

地域とともにあった海岸林: 仙台湾岸の里浜史を読み解く

菊池慶子（東北学院大学 文学部）

よい海岸林は、よい砂浜から: 砂浜海岸エコトーンにおける砂丘・森・湿地の共存

岡 浩平（広島工業大学 環境学部）

本当に海岸林は津波防災に有効か？：歴史と科学から考える海岸林の効果検証

柳澤英明（東北学院大学 教養学部）

15:05～15:50 森づくりから、地域づくりへ: 参加者間の情報・意見交換

15:50 総括・閉会

会場へのアクセス

東北学院大学土樋キャンパス 押川記念ホール：<http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/access/>

仙台市地下鉄など、公共交通機関をご利用下さい（五橋駅が最寄り駅です）。会場に駐車場はありません。近隣の民間有料駐車場をご利用下さい。

※参加費・事前の参加予約は不要です。

問い合わせ：平吹喜彦（yhira@mail.tohoku-gakuin.ac.jp Fax: 022-773-3706）

主催: 「生態系サービスの享受を最大化する'里浜復興シナリオ'創出」プロジェクトチーム

共催: 「地域の自然と歴史に学ぶ里浜復興」研究会

後援: 日本海岸林学会、日本緑化工学会、植生学会、日本景観生態学会、自然環境復元学会、日本生態学会生態系管理専門委員会

協力: 東北学院大学、新浜町内会、南蒲生/砂浜海岸エコトーンモニタリングネットワーク

このフォーラムは、「東北学院大学 平成29年度 学長研究助成金（地域に関わる研究・活動）」と「公益財団法人日本生命財団 平成29年度環境問題研究助成（学際的総合研究）」の助成を受けて実施するものです。